

ロシアによるウクライナ侵略を強く非難する決議

令和4年2月21日、プーチン・ロシア大統領は、ウクライナの一部である「ドネツク人民共和国」及び「ルハンスク人民共和国」の独立を一方向的に承認する大統領令に署名し、同月24日、ロシアはウクライナへの侵略を開始した。

このようなロシアの行為は、ウクライナの主権及び領土の一体性を侵害し、武力行使を禁ずる国際法に違反するものであり、国連憲章に反する重大な行為であるため、断じて許容できるものではない。この事態は欧州にとどまらず、アジアを含む国際社会の秩序の根幹を揺るがす重大な事態であり、豊田市議会は、ロシアによるウクライナ侵略を強く非難するとともに、ロシアに対し、即時に攻撃を停止し、ウクライナからロシア軍を完全撤退するよう強く求める。

政府に対しては、邦人の安全確保に全力を尽くすとともに、国際社会と連携して制裁措置を含む迅速かつ厳格な対応を行うとともに、あらゆる外交ルートを駆使し、ウクライナを含む国際社会の平和を取り戻すことを強く求める。

以上、決議する。

令和4年3月8日

豊 田 市 議 会